



ネベシャローム / ワハト・アッサラーム
واحة السلام (平和のオアシス) נווה שלום

Volunteering Volunteering Volunteering

ボランテ ィ ア

Volunteering Volunteering Volunteering

NS/WAS でのボランティアをご希望の方は、以下の文章をご熟読ください。

ネベシャローム/ワハト・アッサラームでは、年間を通して数人（通常5～6人）のボランティアを受け入れています。ボランティアを受け入れる第一の理由は、限られた財政内での運営という経済的なものです。ボランティアは、低コストでありながら、村の様々な部門において多大な援助を提供してくれています。しかし経済的理由がなくとも、私たちの活動に関心をもっている方々に、より近い距離からコミュニティを見て頂ける機会を提供できるという理由からも、ボランティアを受け入れることを喜ばしく思っています。

これまでの経験から、NS/WAS は、充実した価値ある時間をボランティアに提供できると自負しています。イスラエルにおける異なる文化やそれらのコンフリクトについて、さらに村や村内の教育機関がコンフリクトにどう向き合っているかについて学ぶことができます。そして、ボランティア・グループとの密接な関わりの中で生活について学び、時としては、自ら自身について学ぶことができます。

一方で、NS/WAS がボランティアに提供できない事柄もあります。これらを明らかにすることは、ボランティアを希望されている方を失望・挫折させないために、そしてボランティアとしてこちらに来ることを決心する際の判断材料として、重要であると考えています。

ボランティアの中には、私たちの教育活動への積極的な関わりを期待して来られる方がおられますが、残念ながら、それにはお応えできません。School for Peace は、イスラエル国籍をもつユダヤ人とアラブ人の常勤専任スタッフがおり、この活動に対する特別なトレーニングを受けていない方の参与は受け入れていません。また、村の他部門においても、意思決定や管理職の地位に、ボランティアを配置することはありません。

ボランティアの実際の仕事は、村内の日常的な作業です。ボランティアには、ゲスト・ハウス、キッチン、保育園、幼稚園、学校、メンテナンス全般、ガーデンなどにおける基本的な作業を手伝ってもらっています。仕事のほとんどは、それ自体興味深いものではありません。どの部門で仕事をするかは村のニーズによって決定されます。

もちろん、ボランティアの労働力を過小評価しているわけではありません。ましてや、それは、ネベシャローム/ワハト・アッサラームや村内にある教育機関の試みに多大に寄与するものです。ただ、ボランティアが与えられる仕事について、こちらに来られてから失望されることがないことを願っています。

ネベシャローム/ワハト・アッサラームは、二民族の共生という特別な性質をもち、そのような場所で暮らすことを選択した人々で構成される小さなコミュニティです。このコミュニティに暮らす家族は、各々で生計を立て、村の中あるいは外で仕事をし、料理・食事などを含めた時間を家庭で過ごし、そして、コミュニティの民主主義体制のプロセスに参加しています。この村は（キブツのような）共同体ではありませんが、多くの面で協力体制がとられています。

このコミュニティでは、ボランティアたちは自由時間の多くを彼らの中で過ごし、彼ら自身の社会集団を形成する傾向があります。村のメンバーとの交流は、各個人の行動力次第ではありますが、十分に可能です。

NS/WAS は、エルサレムとテルアビブを結ぶハイウェイから7キロ離れた丘の上にあります。どちらの都市へ行くにも車でおおよそ30分かかりますが、エルサレムへ行く方が、ボランティア間では人気のようです。都市へ出るには、村の車を借りて、他のボランティアにハイウェイ沿いにあるバス停まで送ってもらうか、もしくは、村外へ出る村民の車に同乗させてもらうか（通常困難なことではありません）のいずれかになります。

詳細な条件や規則は次の通りです。

滞在期間

* 私たちは、通常、6ヶ月～1年間滞在希望のボランティアを優先して受け入れています（より長期間の滞在は、特別な承認を必要とします）。短期間での滞在も受け入れています、その時の状況によります。

ボランティア・コーディネーターの役割

- * ボランティア・コーディネーターは仕事のスケジュールを調整し、ボランティアのニーズに対応します。
- * 可能な範囲で、グループのためのプログラムやアクティビティを計画します。
- * ボランティア・コーディネーターは、通常の就業時間内において対応可能です。

就業時間

* ボランティアは週5日、1日8時間の労働が課せられます。時として、それ以上の仕事求められる時がありますが、この時間分の代休が与えられます。

休日・祝日

- * 働く部門の要望によりますが、ボランティアの休日は金曜日・土曜日です。
- * 祝日（キリスト教徒のボランティア）は、12月25日、1月1日、イースター、イスラエル独立記念日です。他の信仰をもつボランティアは、事前の承認が必要ですが、上記に代わる祝日休暇を取ることも可能です。
- * 毎月、ボランティアは特別休暇を1日取ることができます。この特別休暇は、就労期間の最後、緊急の疾病、ビザ更新時にのみ使用可能です。
- * 保育園では、週6日の就労が課せられ、休日は土曜日のみとなります。保育園で働くボランティアは、緊急時を除いて、就労期間内に休暇を取ることができません。しかし、保育園の長期休暇時において、金曜日就労分の代休を取ることが可能です。
- * いかなる理由においても仕事が無くなった際には、ボランティア各自の責任においてボランティア・コーディネーターに申し出てください。

設備

* 各ボランティアには、それぞれに個室が用意されていますが、部屋はとても小さく、“基本的”な設備しかありません。バス・トイレは別にあります。

手当・特典

- * 1ヶ月毎に、ポケット・マネーがUS\$50支給されます。就労開始一ヶ月後から支給可能です。
- * 1ヶ月毎に、100unitsのテレフォンカードが支給されます。
- * NS/WASの車が使用可能です。（詳しくは「NS/WASの車の使用・旅行」をご覧ください）
- * 手紙等の切手
- * 英字新聞（ボランティア全体に一部）
- * 3ヶ月に一度、ボランティア全員で旅行を計画できます。ボランティア旅行における条件などは、ボランティア・コーディネーターに問い合わせてください。

医療保険・待遇

- * ボランティアは、NS/WAS 滞在期間中の海外保険に入っておいてください。
- * 雇用時間中、ボランティアは NS/WAS の労働事故のための保険が適応されます。

NS/WAS の車の使用・旅行

- * コミュニティの車は、NS/WAS が仕事で使用するためのものです。ボランティアは、Latern ジャンクション・Nachshon ジャンクションまでの短距離間を除き、使用することはできません。
- * 週に一度、ボランティアはグループでエルサレムかテルアビブ（または同等の距離）まで車を使用することができます。ただし、仕事終了後か金曜日・土曜日に限られます。
- * ホテルの備品は、緊急時やボランティア・コーディネーターが調整した場合を除き、使用しないでください。

食事・買い物

- * 食事は、ボランティア・ハウスにあるキッチンでの自炊となります。材料は、近くのスーパーマーケットへ、ボランティア自らで買出しに行きます。予算額は、滞在しているボランティアの数によって決定されます。その中で、食料品や洗面用品、その他の基本的な日用品を購入しています。
- * 食料品の買い出しは、週に一度、事前に決定された日になされます。

ビザ

- * NS/WAS は、当村に 3 ヶ月以上滞在した場合のみ、ボランティアのビザ更新費を負担します。その他のあらゆる場合でのビザ更新費は、ボランティアの自己負担となります。
- * ビザ更新手続きのために欠勤する際は、ボランティアと就労先の責任者との間で日程を調整してください。
- * ビザ更新費や書類は、ボランティア・コーディネーターから事前に取得しておいてください。

ゲスト

- * 就労期間中は、ゲストの訪問を理由に仕事を離れることは認められません。
- * ボランティアの部屋に滞在するゲストは、食費を負担することが求められます。
- * ボランティアの両親や友達がゲスト・ハウスに滞在する場合、宿泊費が 15% 割引されます。
- * ゲストがスイミングプールを使用する場合、入場料の支払いが必要となります。

その他

- * 運転免許書：車の運転ができる方は、是非運転免許書を持参して下さい。イスラエルでは、国際運転免許書が有効です。
- * 洗濯機：ボランティア・ハウスに洗濯機が設置されています。
- * スイミングプール：シーズン期間中は、ボランティアはスイミングプールを無料で使用できます。しかし、ゲストは一般と同額の入場料が必要となります。
- * 個人の所持品：NS/WAS は、ボランティアの個人的な所持品に責任をもちかね、保険等の保障もありません。

せん。貴重品は、財務室に保管することができます。

* 言語：英語・ アラビア語・ ヘブライ語のいずれかにおいて、日常会話が可能な程度の語学力が求められます。（ボランティア間の会話は英語となります）

ボランティアの就労期間

* 就労や滞在における解雇・ 終結の権利はNS/WASが保持します。

* 事前に承認された日より早くこの村を離れるようになった場合は、代わりのボランティアを探す必要があるために、できる限り早い段階でボランティア・ コーディネーターに報告してください。

* 就労期間終了後も数日間部屋を使用することができます。（ただし、就労手当てや食費支給の対象にはなりません。）休日出勤などで過剰勤務をした場合は、その日数分の代休を取ることができます。代休使用期間中もボランティアとしての身分条件が適応されます。

* 離村時には、次のボランティアのために、部屋をきれいに掃除してください。

上記の条件を読んでも、なお、ボランティアをご希望される方へは、あなたのネベシャローム/ワハト・ アッサラームでの滞在が楽しく興味深いものとなるように、私たちもできる限りのことはさせていただきます。

ボランティアからの手紙もご参照ください：Letters from the volunteers

ボランティアをご希望の方は、“Application Form” へ

ボランティアの生活・ 仕事等についての日本語でのご質問は、

japan@nswas.org までお気軽にどうぞ。